

この付録は、佐世保市の平成19年度(平成19年4月1日から20年3月31日まで)の台所(財政)事情をわかりやすくお知らせするために制作した情報紙です。

25万市民の台所事情

させぼさんちの家計簿

平成19年度決算(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

佐世保市の財政状況を
分かりやすく
「させぼさん」一家の
家計簿に例えてみました。
さて、させぼさんちの
台所事情は?!

させぼさんちの
家族構成

祖父母(じいいぬ・ばばねこ)

旅行にガーデニング、
悠々自適に隠居生活。
息子(そうパパ)の夢を
サポートしたい!



父(そうパパ)

自分の店を持つ
夢を実現した脱サラ「父」
まだまだ収入安定せず
がんばれ!

長女(さるひめ)

一人暮らしの大学生「長女」
毎月の仕送りを計画的に
やりくりしている、しっかり者です。

長男(ねずみこそう)

育ち盛りの中学生「長男」
野球に塾に大忙しの毎日です。

母(ぶーママ)

我が家の金庫番「母」
パート勤めで家計をサポート。

佐世保市財務部

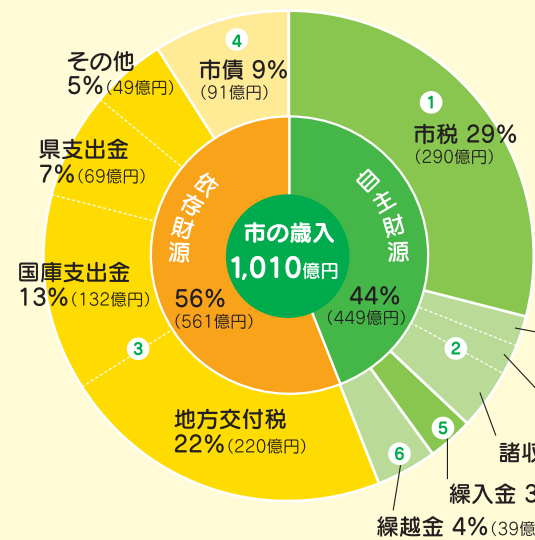
させぼさんちの家計簿

佐世保市の平成19年度決算(一般会計)を、年収500万円の家計に見立てて、1ヶ月あたりの家計簿を作ってみました。

19年度のトピック

- 新市長就任。
- 今後10年間における将来のまちづくりの指針として、「第6次佐世保市総合計画」を策定。
- 中央保健福祉センター(仮称)の建設に着手。
- 全国茶サミット長崎大会の開催(11月8~9日)
- 西部芳世苑・江上地区公民館体育室など完成。

どんな収入があったの?



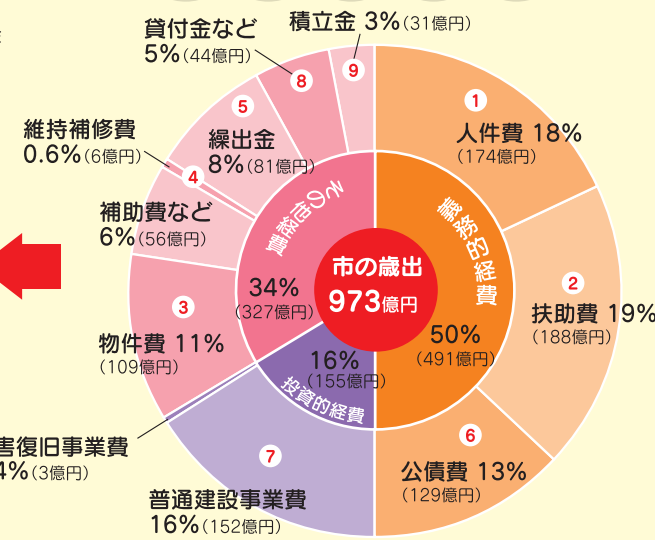
- 市税**
市民税や固定資産税など
- 使用料・手数料など**
市の施設の使用料や住民票の写しの交付手数料など
- 地方交付税など**
国の税金や県からもらったお金など
- 市債**
国や銀行から借りたお金
- 繰入金**
市の貯金から引き出したお金
- 繰越金**
昨年度残ったお金

させぼさんちの家計簿

収入		支出	
現金収入合計	350,900円	生活費合計	226,800円
給料	119,200円	食費	62,500円
パート収入	37,500円	医療費	76,700円
祖父母からの仕送り	194,200円	光熱費など雑費	54,200円
借金	37,500円	車などの修理代	1,700円
貯金とりくずし	12,500円	教育費	31,700円
繰越金	15,800円	娘への仕送り	33,300円
		ローンの返済	53,300円
		家や庭の建築、改修	56,700円
		貸付など	18,300円
		貯金	12,500円

- 人件費**
市職員の給料や議員報酬など
- 扶助費**
生活保護、障がい者支援、医療費助成など福祉に使うお金
- 物件費など**
光熱水費や業務委託料など
- 維持補修費**
教育費はグラフの「人件費、物件費、普通建設事業費」などに含まれています。
- 他会計への繰出金**
下水道事業や介護保険などの他の会計への繰出金
- 公債費**
市債の元金・利子や一時借入金の利子
- 普通建設事業費**
道路や学校など、公共施設の新築・改修に必要なお金
- 貸付金など**
福祉や地域振興のために貸すお金
- 積立金**

どんな支出があったの?



自分で稼いだ収入は18年度に比べわずかに増えましたが、まだまだ親からの仕送りや借金が大半。やりくりで借金は若干減ってきましたが、いまだに年収を超える残高です。今後の収入増加も期待薄の中、医療費や娘への仕送りは増える一方…。しかし、今後はなるべく借金に頼らず、収入に見合った支出を心がけたいと考えています。



市民1人当たり
50,000円

A 416,700円 **B** 400,900円

余ったお金 **A - B = 15,800円**

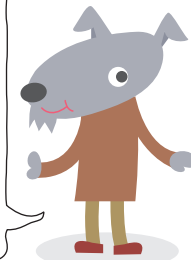
貯金残高 **63万円** ローン残高 **574万円**



市民1人当たり
450,000円

19年度決算のポイント

- 義務的経費が増加。
・市職員の給料などの人件費は減少。
・法や社会保障制度に基づいて義務的に支払う扶助費が増加。
・市の借金を返済するための公債費が増加。
- 投資的経費も増加。
・公民館や廃棄物処理施設、水族館などの建設により投資的経費が増加。

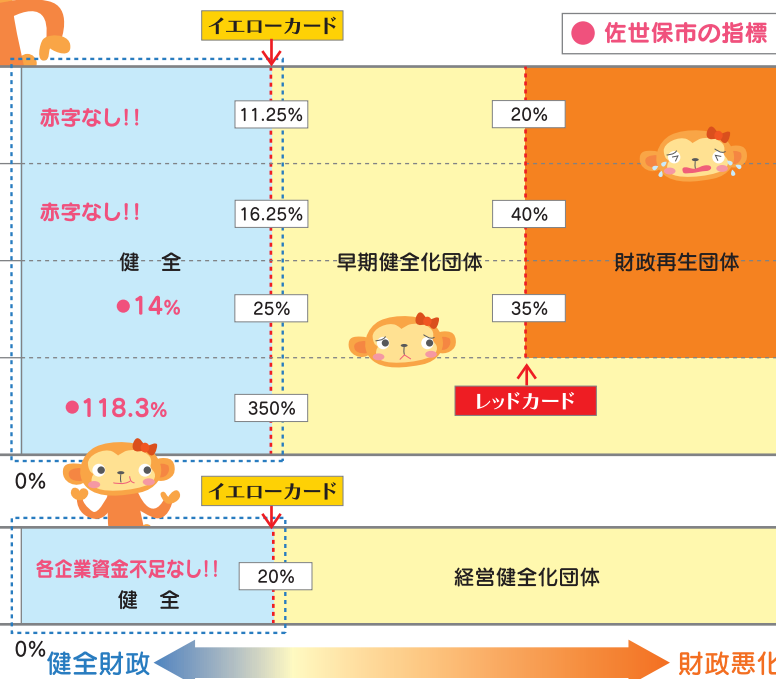


市の財政は健全なの?

■財政健全化判断比率

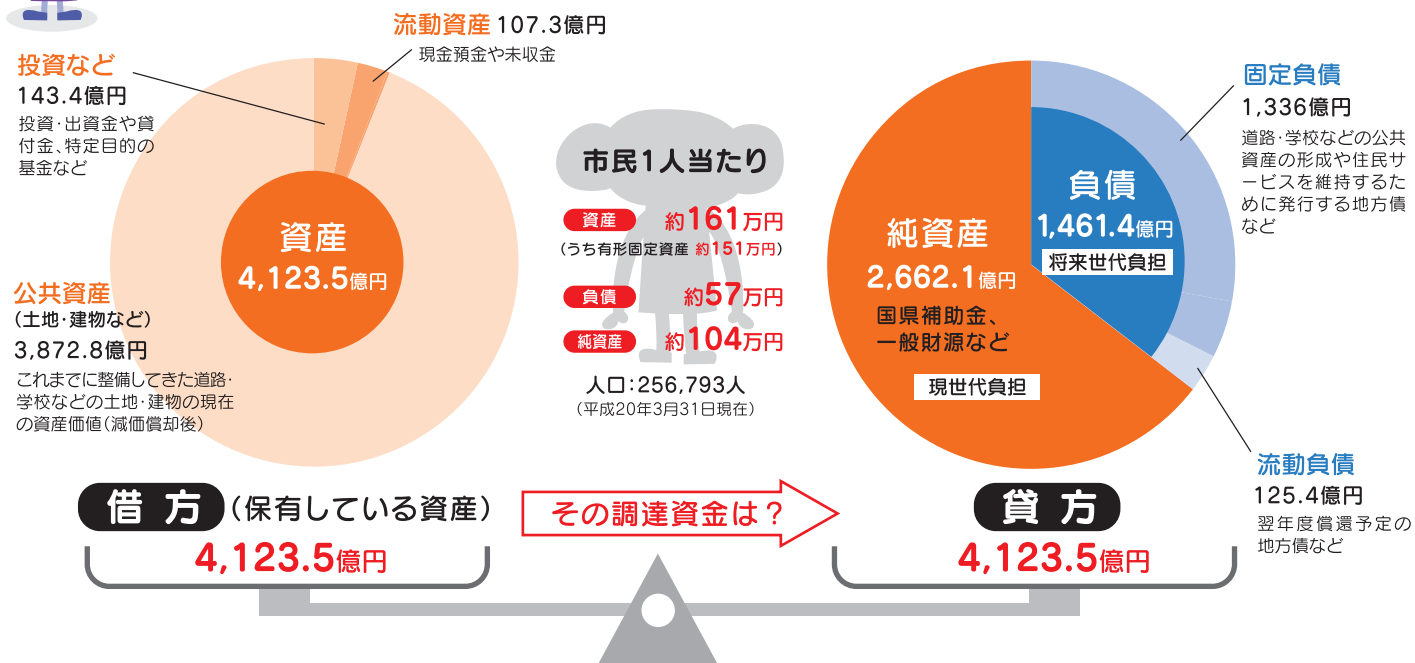
実質赤字比率	一般会計などの実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。
連結実質赤字比率	全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。
実質公債費比率	一般会計などの実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。
将来負担比率	一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。

青の枠が財政が健全ということ!!
佐世保市はすべての指標でクリアしています!!



市の財産は?

平成19年度 佐世保市のバランスシート(資産・負債の状況)



※おわびと訂正
お配りした情報紙の説明の中で、市の資産構成として「流動負債」と表記していましたが、正しくは「流動資産」です。おわびして訂正します。(PDFは訂正済です)

健全な財政運営のために「行政評価」を行っています。



行政評価とは？

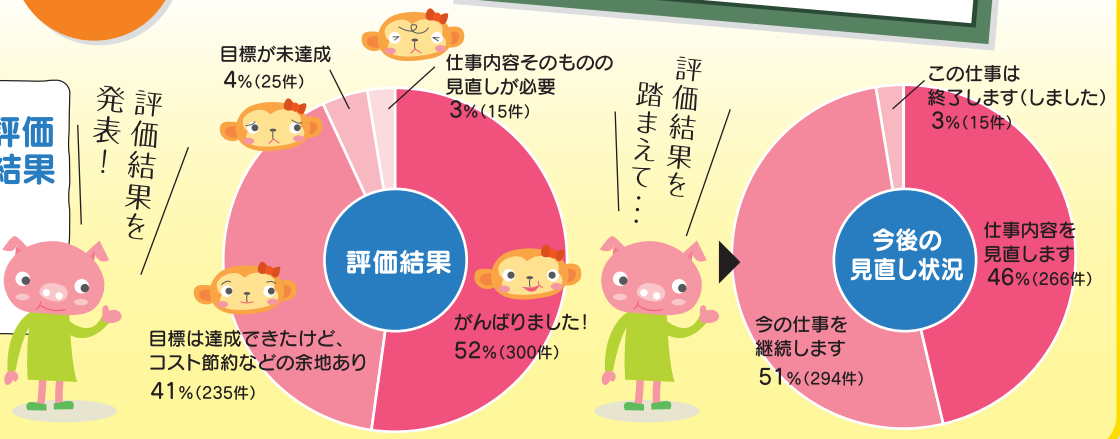
市が行う様々な仕事について、「どんな目標で」「どれだけのコストをかけて」「どのような成果をだしたか」というようなことを評価し、仕事の見直しや行政サービスの改善につなげるものです。



対象	市役所職員	
目的	職員が経営的な考え方をもち仕事の改善に努めること。	
仕事内容	行政評価をうまく活用できるようなしくみづくりや研修会の開催。	
必要性	市が取り組むべきか？	必要だ ★★★★★
有効性	まちづくりの目標に貢献したか？	貢献した ★★★★★
	仕事の目的は適切か？	適切だった ★★★★★
	成果の達成度は？	達成できた ★★★★★
活動内容 (努力度)	仕事量は？	十分だった ★★★★★
	仕事の見直しはしたか？	見直した ★★★★★
	コストを節約できたか？	あまりできなかった ★

平成20年度行政評価(19年度決算評価)の結果

平成19年度に市が実施した575件の仕事について、評価を行った結果です。



評価結果を公表！



これからも健全な財政運営を行います。

今後、社会保障関係経費など義務的な経費が増加する中、学校などの耐震化や観光客の誘致なども進めなければなりません。自主財源に乏しい本市が健全な行政運営を継続していくためには、これからも行財政運営のさらなる効率化を図っていく必要があります。

- ### 財政運営の目標
- 財政調整基金※残高の適正規模を維持します。
※年度間の財政の不均衡を調整するための貯金
 - 人件費、公債費等の義務的な経費の抑制を図ります。

- 実施事業の厳選に努め、実施にあたっては、国・県の財政支援策を効果的に活用し必要な財源の調達・確保を促進します。また、公金の効果的な運用、「行政評価」を活用しながら限られた財源の最適配分に努めます。
- 市の財政状況について、市民にわかりやすく公表を行います。

（佐世保市の財政や行政評価についてもっと知りたい方は、市のホームページにアクセスして下さい。）
また市役所6階行政資料閲覧コーナーでも各種資料をご覧いただけます。